

農山漁村地域整備計画

計画の名称

宮城県林道整備計画

計画策定主体

宮城県

対象市町村

仙台市, 石巻市, 気仙沼市, 登米市, 栗原市, 丸森町, 女川町(7市町)

計画の期間

平成22年度～平成26年度(5年間)

計画の目標

県土の57%を占める森林は、県土保全機能や木材生産機能をはじめ、県民が安全で安心して生活や文化を営む上で欠かせない多面的な機能を有している。

特に人工林を主体とした森林資源の充実を背景に県産材の供給力が着実に増加する中で、森林の適切な維持管理と、高性能林業機械の導入に対応した合理的な林業経営の推進を図るための林内道路網の整備が重要な課題となっている。

そこで、当該計画に沿って、林道の開設・改良・舗装等の整備を進めることにより、森林の有する多面的機能の高度発揮を確保するとともに、高性能林業機械と路網の組み合わせによる生産性の高い作業システムの構築により、林業収益性の向上を図る。

定量的指標

森林の有する多面的機能の高度発揮、路網整備による林業収益性の向上を図るため、7路線において延長L=10,859mの開設・改良を図るなど林道網の整備を図る。

対象事業

(単位:千円)

事業名	地区名	事業実施主体	工期	総事業費	主な事業内容等
路網整備事業	宮城県内	県	H22～26	754,100	森林管理道整備事業 森林基幹道整備事業
		市町	H22～26	675,650	森林管理道整備事業
合計(全体事業費)				1,429,750	